

第59回大会準備状況

すでに前回の会報でもお知らせしましたとおり、第59回大会を、2015年9月26日（土）と27日（日）の両日に、宮城教育大学（仙台市青葉区）で開催いたします。準備委員会で中身の検討を進めているところですが、その準備状況をお知らせいたします。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

《テーマ》

教育史研究と教師の教養形成

日 時：2015年9月26日（土）14：00～17：30

場 所：宮城教育大学220教室

報告者：船寄俊雄会員（神戸大学）

岩田康之会員（東京学芸大学）

山崎洋子会員（武庫川女子大学）

指定討論者：

前田一男会員（立教大学）

遠藤孝夫会員（岩手大学）

司会者：佐藤幹男（石巻専修大学）

佐藤哲也（宮城教育大学）

《テーマ設定の趣旨》

教育史研究は教師の教養形成にどう貢献しうるのか、これを基本的課題としたい。

近年の教師教育政策（とりわけ教員養成政策）では、「実践的指導力」を育成すべき資質能力の中核に据え、学校現場・教育委員会との連携に焦点づけられた現場主義とでもいうべき方策を進行させている。そこには大学での養成や研修への不信が見え隠れしている。

一方、教育史分野は免許法上で一定の位置を占めているもののその優先度は高いものではなく、また各大学での教育史関係科目（教職科目）の開設も遞減傾向にある。直截に言えば、教育史分野は「劣勢」に立たされているのが現状だといわざるをえない。こうした状況は歴史的思考を欠落させた教師を輩出する事態をもたらしているといつてよいだろう。

教育史研究は教師の教養形成にどのように貢献しうるのか、そのことが、教育史研究のあり様と教師

の教養のあり様の検討を踏まえつつ、改めて問われなければならないのではないか。この課題は、本学会員の多くが何らかの形で教師教育に携わっていることを考えると、避けて通れない共通の課題だといえる。

そこで、教師教育の研究者3名にそれぞれのフィールドからご報告いただき、また指定討論者2名からコメントをいただき、上記課題について議論を深めていきたい。

研究発表・コロキウムは、例年に倣って設定することにいたします。多くの会員の皆様の申し込みをお待ちしております。

詳細につきましては同封の「開催のご案内」をご参照ください。大会開催のことは、例年どおり、ホームページで随時お知らせいたします。教育史学会のホームページにリンクしますので、ご参照いただければ幸いです。

別紙でもご案内しておりますが、大会期間中の宿泊施設確保が難しくなりつつあります。大会参加を予定されている皆さまにおかれましては、ネット予約や旅行代理店を通じて、あるいは直接電話をする等、早めにご対応をいただき、宿泊施設を確保していただければ幸いに存じます。

第59回大会準備委員会委員長
笠間 賢二

機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集委員会委員長 米田 俊彦

5月9日に開催された機関誌編集委員会で、第58集に掲載する論文が下記のとおりに決定しました。

- (1) 湯川文彦（日本学術振興会特別研究員・PD）
明治初年の民政改革における〈教育〉の台頭
—大木喬任と学制—
- (2) 林潤平（京都大学・院）
近代日本地理教育における自然愛説の展開
—明治から昭和初期まで—
- (3) 吉野剛弘（東京電機大学）
旧制中学校における実業科目の導入と挫折
—千葉中学校の実業補習科を通して—
- (4) 杉浦由香里（滋賀県立大学）
三重県阿山高等公民学校の発足
- (5) 萩原真美（お茶の水女子大学・院）
占領初期沖縄における歴史教育の志向性
—『沖縄歴史参考資料』を手がかりに—
- (6) 太田光一
エデュカチオ再考
—コメニウスを中心に—
- (7) 広川由子（愛知江南短期大学）
占領期における対日英語教育政策の歴史的基盤
今回は投稿が30本（日本21本、東洋1本、西洋5

本、複合領域3本）でしたが、投稿者自身の別著と同一の内容と判断されたもの1本と規定の字数を超えていた1本の合計2本（いずれも日本）を不受理としました。

第一段階審査での指摘事項には次のようなことがありました。今後投稿される場合に、ぜひ参考にしてください。

(1) 形式的な面に関する指摘

- ①出典の書誌データの書き方が不正確あるいは不十分である。
- ②引用文の漢字が新字体で統一されていない（旧字体のフォントがないものだけを新字体にしている）。

(2) 内容的な面に関する指摘

- ①テーマ設定やテーマの意義づけがあいまい、あるいはテーマにかかわるキーワードの説明が不十分で、そのために何を論証しようとしたのかがわかりにくい。
- ②先行研究（翻訳を含む）の取り上げ方が不十分である。
- ③論証の結果が先行研究によって形作られている通説的理解に何を加え、何を变えたのかの説明が不十分である。

第二段階審査では、「論文審査手続」に基づき、編集委員が10点満点・10段階の評点を付け、各論文の平均点によって採択の可否が決定されます。今回の全論文の平均点は5.2点でした。

* 図書

- ・戸田金一 『ぼくは中三模範軍国少年—戸田金一「昭和十九年度日誌」(翻刻)—』 2014/11/14
- ・高橋裕子 『明治期地域学校衛生史研究—中津川興風学校の学校衛生活動』 学術出版会 2014/11/25
- ・小野雅章 『御真影と学校—「奉護」の変容』 東京大学出版会 2014/12/25
- ・山田芳則 『熊沢蕃山の思想冒険』 思文閣出版 2014/12/25
- ・上野輝将・岡田知弘・小松秀雄・三羽光彦・高木和美・野田公夫・井伊岳夫 『新修 彦根市史(第4巻 通史編 現代)』 彦根市 2015/1/31
- ・J. A. コメニウス著 / 太田光一訳 『コメニウスセレクション2 パンパイディア—生涯にわたる教育の改善』 東信堂 2015/2/1
- ・高野秀晴 『教化に臨む近世学問—石門心学の立場』 ぺりかん社 2015/2/28
- ・斉藤利彦編 『学校文化の史的探究 中等諸学校の『校友会雑誌』を手がかりとして』 東京大学出版会 2015/2/28
- ・瀧澤利行・七木田文彦・竹下智美 『雑誌「養護」の時代と世界—学校の中で学校看護婦はどう生きたか—』 大空社 2015/3/23
- ・影山礼子 『ブゼル先生とバイブル・クラスの学生たち 近代日本の人間形成』 関東学院大学出版会 2015/3/31
- ・『The Korean Journal of History of Education』 2013/12/31
- ・『The Korean Journal of History of Education』, Vol. 36, No. 1 The Korean Society for History of Education 2014/3/31
- ・『The Korean Journal of History of Education』, Vol. 36, No. 2 The Korean Society for History of Education 2014/6/30
- ・『The Korean Journal of History of Education』, Vol. 36, No. 3 The Korean Society for History of Education 2014/9/30
- ・『The Korean Journal of History of Education』, Vol. 36, No. 4 The Korean Society for History of Education 2014/12/30
- ・『大学教育学会ニュースレター』 No. 98 大学教育学会 2015/2/4
- ・『中央大学史紀要』 第19号 中央大学史料委員会専門委員会 2015/1/30
- ・『教育社会史史料研究』 第8号 教育社会史史料研究会 2015/1/31
- ・『教育史研究室年報』 第20号 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育史研究室 2014/12/
- ・『仏教教育ニュース』 No. 45 日本仏教教育学会 2015/2/15
- ・『立教学院史研究』 第12号 立教学院史資料センター 2015/2/20
- ・『教育論叢』 第58号 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻 2015/3/21
- ・『日本教育史学会紀要』 第5巻 日本教育史学会 2015/3/20
- ・『武蔵大学人文学会雑誌』 第46巻第3・4号 武蔵大学人文学会 2015/3/20
- ・『日本仏教教育学研究』 第23号 日本仏教教育学会 2015/3/31
- ・『大学教育学会ニュースレター』 No. 99 大学教育学会 2015/4/15
- ・『名古屋大学大学文書資料室紀要』 第23号 名古屋大学大学文書資料室 2015/3/31
- ・『名古屋大学大学文書資料室ニュース』 第32号 名古屋大学大学文書資料室 2015/3/31
- ・『The Korean Journal of History of Education』, Vol. 35, No. 3 The Korean Society for History of Education 2013/9/30
- ・『The Korean Journal of History of Education』, Vol. 35, No. 4 The Korean Society for History

* 紀要・ニュースレターなど

- ・『武蔵大学人文学会雑誌 平林和幸教授追悼号』 第46巻第1号 武蔵大学人文学会 2014/10/10
- ・『大学教育学会誌』 第36巻第2号 大学教育学会 2014/11/28
- ・『ディルタイ研究』 第25号 日本ディルタイ協会 2014/11/30
- ・『人間と社会の探求 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要』 第78号 慶應義塾大学大学院社会学研究科 2014/12/15

事務局からのお知らせ

1. 書評委員の選出について

書評委員会規程第2条に基づき、2015年3月の理事会にて次年度書評委員を選出いたしました。選出された委員は以下の通りです。

■第59集書評委員

日本：清水 康幸（青山学院女子短期大学）

木村 元（一橋大学）

大戸 安弘（横浜国立大学）

西洋：宮本健市郎（関西学院大学）

尾上 雅信（岡山大学）

東洋：新保 敦子（早稲田大学）

佐野 通夫（こども教育宝仙大学）

2. 会費納入のお願い

2014年9月より第58回大会年度がスタートしております。5月15日時点で今年度及び過年度会費をお支払いいただいていない会員には、振込用紙を同封させていただきました。すみやかな納入にご協力ください。

なお、年会費は「ゆうちょ銀行」（郵便局口座）からの自動引き落としにより納入できます。自動引き落としをご希望の方は事務局までご連絡ください。必要書類をお送りいたします。

3. 会員登録について

現在、次の方々住所不明となっております。お心当たりの方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報くださるようお願いいたします。なお、会員登録内容の変更は、ご本人からのお申し出によってのみ可能となります。

4. 会員登録変更等について

引っ越しでご住所が変わられた場合や、勤務先を変更された場合など、学会にお届けいただいている連絡先に変更が生じた場合は、忘れずに事務局までご一報ください。

5. 学会ホームページのリニューアルについて

現在、教育史学会のホームページのリニューアル作業を行っています。新しいホームページへの切り替えは6月末を予定しております。スマートフォンやタブレットからも見やすいデザインを準備中ですので、楽しみにお待ちください。

2015年5月
学会事務局 八畷 友広

教育史学会 会報 No. 117 2015年5月25日

編集・発行 教育史学会事務局 八鍬友広
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
東北大学大学院教育学研究科
八鍬友広研究室 気付
電話 022 (795) 6117
電子メール mail@kyouikushigakkai.jp
郵便振替口座 00140-0-552760 教育史学会事務局

印刷 城島印刷株式会社